

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立鳩山高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校のあるべき姿をグランドデザインとして描き、普通科・情報管理科が併置される強みに着目するとともに、地域との関係を重視している学校の基本姿勢が打ち出されている。学校の置かれた状況や生徒の実態をよく把握して生徒・保護者・地域の期待に応えるものとなっている。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	地域の期待やニーズに応え、公立学校としての使命を意識した重点目標が設定されている。やや網羅的な目標設定となっているので、学校の喫緊課題を踏まえるとともに、生徒に寄り添いながらその成長を促していくという学校の特色をより強く打ち出せると更に良い。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌等の取組を学校全体のシートに盛り込むなど、学校自己評価システムにおける教職員の参画を意識した取組が行われている。プロジェクトチームによる学校改善を進める一方で、企画委員会を学校運営の要として機能するように整備して、主任層の力を束ねた組織体制を構築している。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	「ステップアップ・プロジェクト」で、基礎学力の定着、豊かな心の育成、目標と職業観を持った生徒の育成といった明確なゴールが示され、その実現に向かって一貫して取り組んでおり、成果も上がってきている。方策の評価指標も達成イメージが共有しやすくなるように改善され、教職員全体で取り組んでいくという意識が醸成されている。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の目指すべき方向を的確に示し、教職員一人一人を的確に生かしながら、チームとしての組織力を高めようとしている。教職員間で課題がよく共有されているため、改善のための意見やアイデアが出やすい雰囲気醸成され、教職員の意欲につながっている。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	生徒の実態を把握するためのアンケートが実施され、活用されている。保護者や地域アンケートなど学校の外の声を聴取するなどして、期待やニーズを正しく把握するとともに、アンケートデータの分析・考察をしっかりと行って、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			